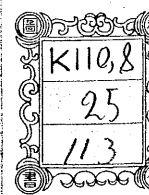


鈴木貞郎
編治

下等

小學書取本

全



B|26

30|17



鈴木貞治郎編

下等小學書取本

東京

正榮堂鋳

等小學書取本

○目次

五十音いろは圖書取法

正草三體書取法

假名單語書取法

單語圖書取法

連語圖書取法

請取券諸證文類用字書取法

尺牘用字書取法

公用文用字書取法

數字書取法初步略例

等小學書取本

鈴木貞次郎 編

○下等小學第六級書取法(五十音及いろは圖ヲ書取ラシム)

大凡書取ハ皆石版ヲ以テ為スナリ故ニ石版ケイ緯線ノ引方ヲ左ニ掲ク

五十音、いろは
圖、又、草正變體
ニ至ルマデ石
版經緯線ノ引
方

石版ヲ机ヨリ出ス法 先ッ教師（石盤ヲ出タシテ）
ノ令ニテ生徒正ク椅子（ス）ニ倚リ石盤ヲ出ス用意
ヲ為ス次ニ（一）ノ令ニテ左ノ手ヲ机蓋ニ置ク（二）
ノ令ニテ机蓋ヲ開キ右手ニテ石版ヲ出シ机蓋
ノ上ニ置キ左手ノ指ニテ之ヲ押ヘ又右ノ手ニ
テ石筆ト拭物ヲ把リ机蓋ニ添ヘ（三）ノ令ニテ机
蓋ヲ閉ヅ次ノ令ニテ石版ヲ拭ク

○五十音書取法

每一日凡二字或ハ三字ヲ以テ適當ト
ス

先ッ石版ヲ出シ前圖ノ如ク版上ニ線ヲ引カシ
メ次ニ教師令シテ（ア）ノ字ヲ書セシム生徒線ノ
一畫中ニ（ア）ヲ書ス教師令シテ石版ヲ伏セシメ
衆生徒皆書了ルヲ察シ乃復令シテ石版ヲ翻サ
シメ教師自ラ教場ヲ巡見シテ衆生書法ノ正否
ヲ檢シテ後塗板上ニ（ア）ト書シ衆生正ク（ア）ト書
セシ者ニ手ヲ舉ゲシメ別ニ又板上ニ生徒ノ誤
字ヲ書シ（タトヘバ）（ア）ヲ（ワ）ト誤リ書スルノ類誤
者ヲシテ手ヲ舉ゲシメ（ス）上ノ如ク消シテ其
可否ヲ決ス順次斯ノ方法ニテ書セシメ終ニ左

圖ノ如クニ至リ止ム

		ア	ウ	オ
		イ	エ	

總テ書取ハ文字ノ順ヲ以テ書セシ
 メザルヲ可トス例ヘバ五十音圖ヲ
 書取ルニ方リ(アイウエオ)ト順ニ書
 セズ上圖ノ如ク(ア)ノ後ニ(イ)ヲ書セ
 シメズノ故ラニ(ウ)ヲ書セシムルノ類ヲイフ

又法

ア	ウ	エ	ア
オ	エ	オ	イ
	イ		ウ

先ツ初ニ令シテ石版ノ半
 面ニ文字ノ順ヲ追ヒ書セ
 シメ後更ニ令シテ半面ヲ

減サシメ他ノ半面ニ字ノ順ヲ追ハズ書セシメ
 最終ニ塗板上ニ諷日書取ラシメタル丈ノ文字
 ヲ書シ一齊ニ讀マシム次ニ明日書取ラシムベ
 キ文字ヲ塗板ニ書シテ之ヲ約束シ指讀齊讀ヲ
 為サシムベシ

○いろは圖書取法該法モ亦五十音圖書取ノ例ニ同シ

石版線
 ノ引方
 亦同前

	と	に	い	ろ	は
			ほ		
			へ		

又法

い	ほ	に	い	ろ	は
へ	ろ	に	へ		
は					

○下等小學第五級

○正草變三體書取法

正草變ノ三體假名ニ
テ單語或ハ簡易ノ日
用語等ヲ書取ラシム

談課ハ正草變體圖書取已ニ熟シテ後施
ス所ノモノニシテ其方法亦前級ト畧相
等シ

先ツ令シテ石版ヲ出サシメ版ノ面ヲ拭ハシメ
教師塗板上ニ石版形ヲ畫キ其書法ノ例ヲ懇示
スルヲ要ス

石版線ノ引方亦前級ニ
同

教師先ツ令シテ曰ク(一)ノ字ヲ正體ニテ書セヨ
衆生之ヲ書ス教師乃チ巡檢スルヲ前ノ如ク後
塗板ニ(一)ヲ書シ曰ク斯ノ如ク書シ、者ハ手ヲ
舉ゲヨ別ニ誤ル者ヲ書シ之ヲ改メシム又令シ
テ曰ク(一)ヲ草體ニテ書セヨ衆生乃チ(一)ヲ書ス
教師之ヲ訂ス前ノ如クス又令シテ曰ク(一)ヲ變
體ニテ書セヨ衆生(一)ヲ書ス之ヲ訂ス亦前法ノ
如シ此ノ如クニシテ遂ニ(一)(一)(一)ノ三體ヲ得次
ニ正草變ノ順序ヲ變換シテ幾度モ書セシメ熟
練研磨スルヲ要ス

三體書取

石版線ノ

引方前ニ

同シ

イ	ロ	ハ	ニ
い	ろ	は	に
以	詠	え	よ

又法

ヨ	ト		
よ	と		
ヨ	と		

教師一字ヲ書セシムル毎ニ其正キ者ヲ塗板ニ
 書シ置キ書取了ルノ後之ヲ齊讀セシム其法正
 キ(イ)(ロ)(ハ)ノ三體塗板ニ在リ教師(イ)ノ字ノミヲ
 指シテ齊讀セシメ餘ハ皆之ト同訓ナリト云フ
 ヲナジヨ
 ヲシ次日書取ヲ約束スルモ亦此例ニ倣フベシ

○假名ニテ單語ヲ書取ル法(或ハ一日凡ソ三字)

談課ハ讀法ニテ既ニ授ケシ假名ノ用法ヲ知ラ
 シムル為ニ正草變三體ノ假名ヲ比較シ單語ノ
 名詞ヲ綴ラシム而ノ單語全圖ヲ悉皆書取ラシ
 メ又他日作文ニ要用ナル者ヲ擇ブヲ可トス

單語
書取
石版
經緯
線ノ
引方

其法教師令シテ曰ク(イト)正體
 ニテ書セヨ衆生乃チ石版線ノ
 一畫中ニ(イト)ト書ス教師巡檢
 シテ塗板上ニ付其正否ヲ決ス
 ル前法ノ如クス次ニ令シテ曰

ク(いと)草體ニテ書セヨ衆生乃チ(イト)ニ對比シ
 テ(いと)ト書ス教師之ヲ訂ス一同前次ニ復令シ
 テ曰ク(いと)變體ニテ書セヨ衆生復對比シテ(いと)ト書ス之ヲ訂ス前法ニ同ジ渾テ斯ノ如クシ
 テ順環熟練セシムベシ

但シ正草變ノ三體ハ時々其順序ヲ變換シ
 テ綴ラシムベシ

該課モ亦書取既ニ了ルノ後塗板ニ正キ者ヲ書
 シ(イト、いと、いと)衆生ニ第一體(イト)ノミヲ齊讀
 セシメ餘ハ皆之ト同訓ナルヲ申明スベシ次

日書取ノ約束ヲ為スモ亦然リ

書取式 (1)

イト	いと	いと
イヌ	いぬ	いぬ

(2)

いと	イト	いと
いぬ	いぬ	いぬ

右ノ如ク初ニハ正草變ノ順ヲ追ヒ次ニ順ヲ紊
 シテ反覆センメ熟練研究スルヲ要ス
 但イトハ拭ヒ消スヲ示セルナリ

シヨクダイタラヒ

シヨクダイタラヒ

シヨクダイタラヒ

(3)

又 (8)

エダ

エダ

エダ

(7)

又 (4)

シヨクダイタラヒ

シヨクダイタラヒ

シヨクダイタラヒ

ツクエ

ツクエ

ツクエ

又 (8)

(5)

エダイ

エダイ

エダイ

ツクエ

ツクエ

ツクエ

右ニ掲ゲタル式例ニテ其餘ヲ類推スベシ

○下等小學第四級單語圖書取法

○單語圖書取法

單語圖中後來作文ニ必要ナル文字ヲ撰ミ書取ル書取ノ前日約束ヲ為ス并石板ニテ習字ヲナスナリ例ヘハ犬、絲、錨等ノ文字ヲ書取ラシメント欲セバ先、前日石版ニテ簡略ニ字形ヲ習ハンメ而後各帳簿ニ此等ノ字ヲ記サシム其法左ニ詳ナリ

單語書 書取 次日書取
ルベキ研
ヲ約シ石
盤ニテ習
字ヲ為サ
シメ次ニ
各自ノ簿
ニ記サシ
ム

取初歩
ノ時ノ
授業時
間割ノ
式

(1)

復習	
各自ノ簿 ニ記サシ ム	

(2)

書取	次日書取 ルベキ研 ヲ塗板ニ 揭示シ後 各自ノ簿 ニ記サシ ム
復習	

左ニ掲ケタル(2)号ノ式ハ生徒已ニ進歩シテ習
字ヲ要セザルニ至テ施ス所ノ者ナリ故ニ書取
ルベキ字數モ隨テ増加ス復習ハ單語書取ヲ十
字乃至十一字位モ了リシ後之ヲ為スベシ

該法教師塗板上ニ(絲犬錨)ノ三字ヲ書シ衆生ニ

向テ曰、汝等能ク之ヲ注視セヨ此レ次日汝等ニ
書取ラシムベキ文字ナリ汝等之ヲ讀ミ得ルカ
乃チ一生ヲ指シ起立シテ朗讀セシメ令シテ曰
ク令某生ノ讀ム所ヲ以テ可ト為ス者ハ手ヲ舉
ゲヨ衆生皆手ヲ舉グ教師乃チ曰ク今汝等ニ此
三字ノ筆法ヲ習ハシメント欲ス宜ク石盤ヲ出
スベシ衆生令ニ應シ皆石盤ヲ出ス教師乃チ塗
板上ニ就キ運筆法ヲ説キ示シ後衆生ニ令シ之
ニ模倣シテ各自習字セシム教師巡檢其正カラ

ザル者ヲ刪正ス衆生己ニ熟習シテ後更ニ令シ
 テ各帳簿ヲ出シ之ニ三字ヲ記シ置カシム。
 次日書取時間ニ至リ教師衆生ニ向ヒ故ラニ問
 テ曰、汝等今日書取ルベキ文字ハ何等ナルヤ甲
 生之ヲ答ヘヨ甲生起立シテ曰ク絲、犬、錨、ナリ教
 師乃衆生ニ向テ曰、汝等甲生ノ答ル所ヲ以テ可
 トナスヤ可トスル者ハ手ヲ舉ゲヨ衆生皆手ヲ
 舉グ教師曰、然リ甲生ノ答可ナリ乃チ令シテ石
 盤ヲ出サシメ教師(絲、犬、錨)ノ字ヲ口誦シテ衆生
 ニ書取ランメ巡檢訂正シテ後齊讀セシムルヲ

渾テ前級ノ法ノ如シ

(1)

錨	犬	錨	絲
	絲		犬

(2)

增	遞	數	字
筭	盤	盤	井
燭臺	井	筭	燭臺

(3)

	折本	机	家
		帶	杖

左ニ掲ゲタル例ニテ其餘ヲ類推スベシ

○單語書取ノ課己ニ終業ニ近ツカントスルノ
 際宜シク餘暇ヲ見合セ連語ヲ書取ラシムルノ
 初歩ヲ開クベシ即チ彼此大小、淺深、黑白、長短、強
 弱、廣狹、等ノ文字ヲ授ケ置キ更ニ此等ノ文字ヲ

名詞ニ當嵌メ用テ授ルヲ要ス

爰ニ(犬)ノ字ニ付テ連語作文ノ基礎ト為スベキ

畧例ヲ示ス左ノ如シ

(犬)

此犬ノ字ノ如キハ衆生ノ熟知スル所ナレバ教師之ヲ塗板上ニ書キ示シ(犬)ニ付テノ問答ヲ設ケ衆生正キ答ヲ為シ、者ハ一々之ヲ板上ニ記シ置クベシ

彼犬 此犬 其犬

右例ハ前ニ説キタル彼此等ノ字ヲ犬ナル名詞

ニ當嵌メシ者ナリ此例ニ據リ漸次歩ヲ進メテ更ニ左例ニ至ル

黒キ犬。 白キ犬。 強キ犬。 弱キ犬。

右ノ如キ例ニテ何物名詞ヲ論セズ總テ各種ノ詞格ヲ帶ビタルモノヲ授クベシ詳カニ言ハバ即チ同ジ犬ニシテ或ハ黒或ハ白ナル變化ヲ知ラシムベキヲ主トス

(1)

赤キ絲	白キ絲	太キ絲	細キ絲
-----	-----	-----	-----

(2)

深キ井	淺キ井	大ナル井	小ナル井
-----	-----	------	------

○連語書取法

石盤

線ノ

引方

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

故ニ教師之ヲ口誦スルニ注意シテ音聲明朗ナルガ
 ルヲ要ス、連語書取ニ至テハ復タ石盤ヲ伏セ
 シメズ尺規ヲ以テ己ニ記セシ條處ヲ蔽サシメ
 教師巡檢ノ際令シテ之ヲ啓カシムルヲ便トス

先ツ連語圖中ノ要處ヲ口誦

シテ暗記シ書取ラシム

該法亦前書取法ト毫モ異ナ

ルヲナシ第字句修長ナルガ

イフコトハハツキリス

故ニ教師之ヲ口誦スルニ注意シテ

音聲明朗ナルガ

ルヲ要ス、連語書取ニ至テハ復タ

石盤ヲ伏セ

シメズ尺規ヲ以テ己ニ記セシ條處

ヲ蔽サシメ

教師巡檢ノ際令シテ之ヲ啓カシム

ルヲ便トス

連語書取(1)ノ式

神ハ天地の主宰	一て	信義を以て人	交る						
學校を出で、書	物を讀み又手習	ナベ	遊歩を為す運	動のため					

(2)

(4)

親の父を祖父と	いひ	親の兄弟を伯父	叔父といひ						
君ハ其處に居て	書物を讀み	彼の小兒ハ何處	へ往き	此の女子ハ何時帰	り	や			

連語ヲ書取ラシムルノ際兼ネテ動詞接續詞形
容詞等ノ變化ヲ授クベシ

茲ニ(天)字ニ付キ疑問法ヲ設ケテ書取ラシムル
方法ヲ掲グ

教師先ツ塗板右旁ニ(天)字ヲ白書シ衆生ニ令シ
テ同字ヲ各自石盤ノ右傍ニ正書セシメ凡ソ犬

ニ關シタル數多ノ疑問ヲ發シ衆生ニ十分思考
力ヲ勵起セシメ甲生ヨリシテ乙生乙生ヨリシ

テ丙生ニ歷問スベシ
疑問例 題(犬)

(1) 問 犬ハナンノ種類デアリマスカ(衆生中ニ

テ正答ヲナス者必ズ犬ハ獸類デアリマ

ス)ト答フベシ右ノ如キ正答ヲ得ル毎ニ

教師之ヲ文語ニ換ヘ漸次ニ塗板ニ列書

セバ終ニ必ス粗一篇ノ文章ニ綴リ得ン

餘皆之ニ倣フ

(2) 問 獸ト鳥トハドコガチガヒマスカ、

(3) 問 犬ニハドンナ色が多クアリマスカ、

(4) 問 犬ハナンノ役ニ立チマスカ、

(5) 問 其外マダ役ニ立ツヲガアリマスカ、

(6) 問 犬ハ平生ドンナ物ヲ食ヒマスカ、
 (7) 問 犬ニハ脚ガ幾本アリマスカ、
 (8) 問 脚ノ四本アルモノハ犬バカリデスカ、
 大槩右ノ疑問ニテ答辞相ヒ繼ギ属綴シテ一篇
 ノ文體ヲ為スニ至ルナリ法ヲ用ル渾テ斯ノ如
 クスル片ハ生徒ニ倦怠ノ色ナク奮然氣ヲ勵
 マシ各正答ヲ為サントスルノ心意ヲ起スベシ
 教師又簡易ナル接續詞ヲ帶ベル熟語ヲ口誦シ
 テ生徒ニ之ヲ書取ラシムルヲ可トス
 例

此猫ハ大ナリ。 彼猫ハ小サナリ。
 彼絲ハ赤シ。 此絲ハ黄ナリ。
 此牛ハ肥エタリ。 彼犬ハ瘦セタリ。
 肥エタル男ハ強シ。 瘦セタル女ハ弱シ。
 右ノ如キ方法ニ照シ漸次文字ヲ轉換遞増スル
 ヲ要ス

連語圖書取己ニ熟スルノ後該課復習ノタメ時
 々暇ヲ以テ左ノ法ヲ施スベシ
 連語圖摘書ノ部(大工、左官)等ノ類以上ノ字等
 ヲ書取ラシメ本文ノ部ハ暗考ニテ大工、左官、等

ノ字ニ假名ヲ接續シ一章ノ文ヲ綴ラシムルヲ要ス

例 今生徒ニ大工、家、造、左官、塗、壁等ノ文字ヲ授ケ左ノ如ク綴ラシム

○大工ハ家ヲ造リ、左官ハ壁ヲ塗ル。

又之ニ加ルニ嵌字法ヲ以セバ異日作文課ヲ修ムルニ至リ大ニ屬綴妥當ノ功ヲ得ル者トス

○嵌字法

該法ハ已ニ卒科セシ所ノ單語及ビ連語等ノ一字或ハ一二句ヲ抄出シ其中ノ四五字ヲ故ラニ

漏脱シテ黑板ニ掲録シ先ツ生徒ニ之ヲ石盤ニ

寫取ランメ而ハ教師一々巡檢シテ文字ノ正否ヲ諦視シ衆生皆正書シ了ルヲ待チ後其空所ニ

真字ヲ嵌スベキ所ニハ○標假名ヲ嵌スベキ處ニハ△標ヲ記シ置キ生徒ニ十分其嵌スベキ文

字ヲ思考セシメ然ル後令シテ字ヲ嵌メシム衆生皆全ク嵌シ得テ了ルノ後衆中最モ妥當ナル

者ヲ撰ミ塗板ニ瞭書シ其嵌字ノ理ヲ説キ明シ一般ノ模範ト為ス

左ニ掲ル所ノ例ハ單語ノ嵌字法ニシテ教師先

ツ自ラ塗板ニ掲記スル者トス

(1) 題 馬

馬ハ○類ニ△△重○ヲ頁△速ヲ○ク

モ△ナリ

(正答)馬ハ^{ダウイ}獸類ニシテ^{ダウ}重物ヲ^オ頁ヒ^{トホキ}速ヲ行

クモノナリ

(2) 題 机

机△書ヲ○△字ヲ○シ又△算術△為△

等ニ○ユ△モノナリ

(正答)机ハ書ヲ讀ミ字ヲ寫シ又ハ^{サンジュウ}算術ヲ為

ス等ニ用ユルモノナリ

又故サラニ誤文ヲ作テ塗板ニ^{掲記}シ生徒ニ正

シ綴ラシマル法アリ

題 犬

犬ハ獸類シヨケ善シ走レモノナレ

(正答)犬ハ獸類ニシテ善ク走ルモノナリ

○連語嵌字法

日○の人△常ハ○類魚○を食△○洋の○ハ

○小獸○鳥肉を食△

(正答)日本の人ハ常ハ^{コシ}穀類魚類を食^{シヨク}西洋の人

ハ常ニ獸肉鳥肉を食す

別例

茲△男○ト○兒ト△リ○ニ學○ニ○キ
書○△勉勵△汝○モ亦此△倣ヒ○シテ
怠惰△ル△ナ△レ

〔正答〕

茲ニ男兒ト女兒トアリ日ニ學校ニ行キ
書物ヲ勉勵ス汝等モ亦此ニ倣ヒ決ンテ
怠惰ナルヲナカレ
右ノ如キ例ヲ置クト雖氏生徒ノ學力ト設問ノ

難易ヲ斟酌量考シテ臨機應變ニ施授スルヲ要ス

○下等小學第三級〔請取券諸證文類及ヒ尺牘ニ使用スベキ文字等ヲ書取ル

○請取券諸證文類ニ使用

スベキ文字ノ書取法

前級ニ於テ已ニ作文ノ基礎タルベキ方法ヲ熟

授シ本級以上ハ緊ネ作文課ヲ置クヲ例トスル

ガ故ニ翌日ノ文題ニ就テ要用ノ文字ヲ書取ラ

シムベシ

書取課ノ功是ニ至リ始テ結果シテ作文ノ用ニ

適スルニ因リ併セテ作文課ノ^{初歩}ニ涉ルベシ然氏前級ノ諸方法ニ於テ懇々教示シ生徒全ク悟リ得テ^{熟スル}ニ非レバ能ハザルモノトス教師次日ノ作文課ニ使用スベキ文字ヲ書取ラシムルニ當リ預ジメ一字一句毎ニ懇々其字義ヲ^{詳講}シ生徒ヲシテ全ク其意味ヲ^{了解}スルヲ得ヤシムルニ非ザレバ不可ナリ例ヘバ翌日ノ文題ニ(金圓請取之證)ヲ出サント欲セバ本題ニ關シタル^{普通}ノ熟語ヲ今日書取ラシム即チ左ノ如キ法ヲ以スルヲ可トス

教師衆生ニ令シ石版ヲ出サシメ金圓請取證ニ關シタル熟語ヲ^{順次}ニ書取ラシム曰生等皆(右正)ト書取ルベシ衆生皆書ス教師巡檢正誤一ニ前級ノ如シ次ニ令シテ曰(請取申候)ト書セヨ衆生亦書ス正誤同前又令シテ曰(落掌候也)ト書セヨ衆生爾ス又曰(右之通慥)ト書セヨ渾テ斯ノ如クシ正ク書スル者ヲ得ル毎ニ之ヲ黑板ニ登記シ^{餘生}ノ不正書スル者ニ之ニ摸倣シ書キ改メシメ最終ニ教師黑板ニ就キ(右之通慥)ト(右正)ト同意ニシテ(請取申候)ト(落掌候)ト同意

ナルヲヲ説示スルモ可ナリ

右ノ法ノ如クスル片ハ衆生各自ノ石盤上ニ左
圖ノ如キ熟語ヲ得ベシ以テ翌日作文ノ資ト為
ス

右之通體二
右正二
請取申候
落掌候也

○翌日作文課時間ニ至リ（金圓
請取證ナル題出レバ生徒中漸
正キ者左ノ如キ文ヲ綴ルベシ

(1) 金圓請取證

一金何圓也

右之通慥二請取申候

(2) 金圓請取證

一金何圓也

右正二落掌候也

○翌日文題
荷物請取之證

○書取ルベキ熟語
(提籃)

澁紙包荷物

右幾品

柳骨籠

幾個

正
ニ
落手ラクシュ

右ヲ前日石盤上ニ書取ラシム作文本題ニ臨ミ生徒正キ者左ノ如キ文ヲ綴ルベシ

○荷物請取證

一提籃

幾個

一柳骨籠

幾個

一澀紙包荷物

幾個

右幾品正ニ落手候也

右ハ唯請取券書取應用ノ例ヲ舉ルノミ餘ハ之

ニ倣ヒ類推スベシ

又法先ツ文材ヲ書取ラシムルニ方リ（荷物請取

券ト云フ文題ヲ與ルト假カリ定サムレハ概サネ左ノ

如キ文字ヲ授ケ書取課ノ時間ニ於テ先ツ屢シ試

ニ容易ナル文例ヲ綴ラシムルモ可クリ其文中

ニハ必ス揭示セル所ノ文字二三ヲ挿サ入セシム

柳骨籠

簞笥

本箱

石

品

正ニ

確ニ

落掌

請取

通リ

申候

也

右ノ如ク黑板ニ登記シテ後セ時シニシテ左ノ如

キ文例ヲ綴ラシムベシ

但文中必ス同一ノ語ヲ現シ出スセザランヲ要ス

(1) 証

(2) 証

一簞笥

壹個

一柳骨籠

三個

右正ニ請取申候

右品確ニ落掌候也

(8) 証

一本箱 六個

右之通り確ニ請取申候

斯ノ如キ法ヲ用ルキハ大ニ生徒ノ思想^シ力^カト勉

強カトヲ揚^{ヤウ}發^{ハツ}セシムルモノナリ生徒皆文語ヲ

綴^ズリ了^スルトキハ教師一々點檢^{テンケン}シテ苟モ意味ノ

通徹^{ツウセツ}スルモノアラバ之ヲ褒獎^{ホウキョウ}シ其不當ナルモ

ノヲバ添削^{テンセツ}ス

○諸證文類書取法

該法モ亦前課法ノ外ニ出デザレ氏今茲ニ其二

三例ヲ掲ルノミ

先ツ文題ヲ借用金證文ト假定ムレバ其書取ラ

シムベキ用字左ノ如シ

抵當^{テイタウ} 請人^{セイジン} 立會^{タチアイ} 受取^{ウケトル} 借用^{キヨウヨウ} 確實^{ケツシツ}

(1) 返済^{ヘンサイ} 元利^{ゲンリ} 其節^{ソノセツ} 差支^{サシ} 無相違^{ムソウタイ} 利子^{リシ}

辨濟^{ベンサイ} 仍^{ヨウ}テ、如件^{コトノトウ} 其證^{ソノシ} 限^{カギ}リ、利子^{リシ}

文題ヲ預リ金證文ト假定ムレバ其書取ルベキ

用字左ノ如シ

受取^{ウケトル} 預^{アザカ}リ置候處^{オキコトコロ} 陳^{チン}ル上ハ、確實^{ケツシツ}

(2) 前書^{ゼンショ} 相渡^{アイワタ}可申^{カモウ}、取^{トル}極^{キョク}之利足^{ノリタリ}、

入用次第、無^サ差^サ支^サ、返濟、

右ニ舉ル所ノ用字ヲ前課法ニ照シ十分生徒ニ了解セシメテ後遂ニ一篇ノ文例ヲ綴ルニ至ラントス

(1) 文例 借用金證文

一金何百圓也

但利子 元金何圓ニ付一ヶ月金何程

此抵當何々

右之金子請人立會正ニ受取致借用候處確實也返濟之儀ハ來ル何年何月限リ前書定ノ利子差加ヘ元利共辨濟可致候若シ其節

差支候ハ、充置候抵當物賣價ノ多少ニ不拘、請人ニ於テ引受無相違辨濟可致候仍テ其證如件、

(2) 文例 預金證文

一金何拾圓

但利足元金何圓ニ付一ヶ月金何程

右之通正ニ受取預リ置候處確實也然ル上ハ前書取極之利足年々何月何日限リ相渡可申候尤モ元金ハ入用次第何時ニテモ無差支返濟可致候仍テ其證如件、
餘ハ此例ニ倣ヒ類推スベシ

(2) (文例)

乍輕少舊葉一第任到來入以覽の百以
受納可被下也

○下等小學第二級(尺牘ニ使用スベキ
文字ヲ書取ル

書牘用字ノ書取ハ已ニ前級ニ於テ其初步ヲ開
キタレバ本級ヨリ以上ハ漸々其精密ナル者ヲ
書取ラシムベシ

文題ヲ(朋友小書籍を贈る手紙下假定ムレバ其
書取ラシムベキ用字左ノ如シ

寸楮拜呈、新刺、此間、壹兩部、購求、

(1) 餘程、面白キ、御贈申上也、御覽可被

下也、本懷ニ涉座也、

(1) (文例)

寸楮拜呈此間新刺之作文必用とヤ書籍
亦ある部購求致ゆ所餘程面白き卷ニ座
其間亦部に贈申上也其覽下也、本懷
ニ涉座也

文題ヲ(右礼手紙)ト假定ムレバ左ノ如キ用字ヲ
書取ラシムベシ

(2) 寸紙拜復、申惠授也下、珍書、其厚情、

参^{サシ}上^{ウヘ}上^{カミ}、不^ス淺^{アサカ}感^{カン}佩^{ハイ}也、不^ス淺^{アサカ}感^{カン}佩^{ハイ}也、礼^{レイ}可^{ベシ}申^{マシ}述^{ダシ}也、礼^{レイ}可^{ベシ}申^{マシ}述^{ダシ}也、猶^{トモ}

(2) (文例)

寸紙拜復^{サツシハヤフク}承^{ウケ}書^{カガミ}、惠^ケ授^{タテマツ}之^ノ、以^{ヨリ}厚^{コウ}情^{ジョウ}不^ス淺^{アサカ}感^{カン}佩^{ハイ}也、

文題^{モンダ}ヲ^テ轉^{テン}宅^{タク}を^シ知^{シル}セ^ル手紙^{テガミ}ト^{シテ}假^カ定^{テイ}ム^{レバ}其^{ソノ}書^{カガミ}取^{トル}

ラ^シム^{ベキ}用^{ヨウ}字^ジ左^サノ如^カシ
(2) 迂^ウ生^{セイ}儀^ギ、迂^ウ生^{セイ}儀^ギ、移^キ轉^{テン}、移^キ轉^{テン}、此^{コノ}段^{ダン}、此^{コノ}段^{ダン}、一^{ヒト}昨^ノ日^{ニチ}、一^{ヒト}昨^ノ日^{ニチ}、報^{ホウ}知^チ、報^{ホウ}知^チ、

(3) (文例)

迂^ウ生^{セイ}儀^ギ一^{ヒト}昨^ノ日^{ニチ}日本^{ニッポン}橋^{ハシ}區^ク蠟^{ロウ}鼓^コ町^{チヨウ}目^メ三^{サン}
番^{バン}地^チ一^{ヒト}移^キ轉^{テン}也^{ナリ}、番^{バン}地^チ一^{ヒト}移^キ轉^{テン}也^{ナリ}、此^{コノ}段^{ダン}報^{ホウ}知^チ申^{マシ}上^{ウヘ}也^{ナリ}、

以上^{イゼン}舉^キル所^{コロ}ノ文例^{モンレイ}ハ唯^{タリ}其^{ソノ}書^{カガミ}取^{トル}用^{ヨウ}字^ジト^{シテ}相^{サウ}關^{カン}係^{ケイ}セ^ル
ル體^{タイ}要^{ヤウ}ヲ^シ示^シスノミ未^ミダ必^{カナラシ}ス斯^{カド}ノ如^カキ文^{モン}ヲ^シ綴^ズラ^ス
シム^{ベシ}ト^{シテ}謂^{イフ}フニ非^{アラ}ズ固^{コト}ヨリ生^{ガク}徒^{リョウ}學^{ガク}力^{リョウ}ノ地^チ位^イ
ヲ^シ酌^{シヤク}量^{リョウ}シテ施^セスベキモ^トトス

○下等小學第一級^{尺牘及公用文ニ使用ス}

本^{ホン}級^{キョウ}ハ尺牘^{シツツク}用^{ヨウ}字^ジノ漸^{ヤカ}前^{ゼン}級^{キョウ}ヨリ精^{セイ}キ者^{モノ}ヲ書^{カキ}取^{トル}ラ^ス
シムル者^{モノ}トス然^{シカ}尺^{シツ}其^{ソノ}體^{タイ}要^{ヤウ}ハ既^{スデ}ニ前^{ゼン}級^{キョウ}ニ詳^{セウ}示^シシ
タルヲ以^{ヨリ}テ茲^{ココ}ニハ略^{リョク}シテ記^キ載^{サイ}セ^ルズ

○公用文書取法

公^{コウ}用^{ヨウ}文^{モン}トハ諸^{モロ}願^{ガン}届^キ書^{ショ}等^{ナド}ノ文例^{モンレイ}ヲイフ今^{イマ}該^{ガイ}課^カニ

關スル用字ヲ書取ルヲ左ノ如シ

文題ヲ(學校不參届)ト假定ムレバ其書取ルベキ

用字左ノ如シ

(1) 私儀、要用、病氣、今日、サシコウ參校、ガクコルヘマイル此段、
難致、御届、何學校、教員御中、

文題ヲ(寄留届)ト假定ムレバ其用字左ノ如シ
(2) 今般、私儀、寄留、此段、御届申上候、

何郡區長某殿、
文題ヲ(休業届)ト假定ムレバ其用字左ノ如シ
(3) 何營業、エイギヨウ右是迄、コレマデ仕居候處、ジジコシ自今、イマカラチ

致候、休業、依之、鑑札、返納、

文題ヲ(改印届)ト假定ムレバ其用字左ノ如シ
(4) 實印、カケツ缺損、ベツシ別紙、インシ印鑑、シン新刻、ボツ相添、
今度、コソド即、カケツ

以上掲ル所ノ例ニテ其餘ヲ類推スベシ唯其文
例ヲ綴ラシムル(即作文課ニ至テハ公用文ハ殊
更其自己宿所姓名ヲ書スベキ位置及ビ役所名
宛ヲ書スベキ位置等ヲ預シメ懇授セザルベカ
ラス

(1) (文例) 學校不參届

私儀今日病氣二付參校難致候間此段御
届申上候也

年月日

姓名

印

何學校教員御中

(2) (文例)

寄留届

原籍

姓名

今般私儀何縣府何國何區郡何村町何番地へ寄
留致候間此段御届申上候也

年月日

姓名

印

何區郡長某殿

(3) (文例)

休業届

宿所

姓名

右是迄何營業仕候處自今休業致候依之
御鑑札返納仕候此段御届申上候也

年月日

姓名

印

地方廳宛

(4) (文例)

改印届

私實印缺損候二付新刻仕即別紙印鑑相

添此段御届申上候也

宿所

年月日

姓名 印

別紙 印鑑 姓名

何區郡長某殿

諸願書用字書取モ亦届書ノ體裁ニ異ナルナ
キガ故ニ略シテ記載セズ公用文用字ノ書取總
テ此例ニ據リ類知スベシ
以上各級ニ就キ次第ニ順序ヲ區別スト雖氏同

一視シテ相連續セシメ生徒ノ力ヲ酌量シテ授
ケ一々分課セシ如キニ拘泥シテ偏固ノ教授ヲ
施スバ可ナリ

○數字書取法其初歩概

初メテ教師ノ生徒ニ物數ヲ授ルヤ珠數器ヲ以
シ珠數器少ク熟シテ後○○○△△△□□□号
符等ヲ以テ實物ニ代ヘ物數ヲ熟記セシメ後日
本數字圖ヲ授ルニ方リ左圖ノ如キ比較法ヲ示
ス

○ = 零
 □ = 一
 □□ = 二
 □□□ = 三
 □□□□ = 四
 □□□□□ = 五

上圖ハ即□符ヲ以テ物數ニ代ヘタルナリ以下推テ知ルベシ
 總テ此ノ如ク實物ニ比較シテ反復説示シ且十一ハ十字下ニ一

ヲ書シ二十三皆同意ナルヲ示シ又二十、三十、ト稱スル片ハ十字上ニ二、三、ノ字ヲ加ヘテ此目的ヲ達スベキヲ教ユ

生徒十分ニ數字圖ヲ熟記シテ後教師諸數ヲ唱シ又問題ヲ揭示シ之ガ答ヲ書取ラシム
 (書取法)先令シテ石盤ヲ出サシメ教師式ハ口唱

或ハ問題ヲ出シ答式ヲ書セシメ直ニ石盤ヲ覆シ衆生ノ成シ得ルヲ候ヒ更ニ令シテ之ヲ反サシメ教師巡檢メ後黑板ニ就キ其正否ヲ決ス其法前篇ニ示ス所ト略相同シ

但此時ハ石盤ニ經緯線ヲ引カシメズ盤ノ左面ヨリ順次ニ書ス

(題例) (1) ○○○○ニ當ル所ノ數字ヲ書セ

(2) □□□□ニ當ル所ノ數ハ如何

(3) 七ニ當ル數ヲ△ニ盤上ニ畫ケ

右ヲ黑板ニ掲テ問ヲ為セバ生徒ノ正答左ノ如

クナルベシ

(1) 答

五

(2)

六

(3)

7

題例

(1) 十六ト書セ

(2) 二十三ト書セ

答式ハ

略ス此等ハ教師皆口唱ノ生徒ニ書取シム

算用數字圖ハ日本數字圖ニ繼ギ授ル者ニシテ

書取ヲ為ス片預メ比較法ヲ示ス左ノ如シ

0=0=0 書取ヲ為ス片預メ比較法ヲ示ス左ノ如シ
□=一=1 上圖ノ如ク實物ニ比較スルニ數
□=二=2 字ヲ以シ又數字ニ比較スルニ算
□=三=3
□=四=4
○=五=5

□ □ □ □ □

○ ○ ○ ○ ○

用數字ヲ以テスルハ彼此相關
シテ生徒ノ了解ニ便ナリ

題例

(1) 六ノ字ニ當ル算用數字ヲ書セ

(2) 7ノ字ニ當ル日本數字ヲ書セ

(3) ○ ○ ○ ○ ○ 數ニ當ル算用數字ハ如何

右ノ如キ問ヲ書取ラシムルハ生徒ノ正答左
ノ如クナルマシ

答(1)

6

(2)

九

(3)

5

算用數字モ亦日本數

圖ノ如ク定位ヲ示ス

1 先務クリ即チ1ノ

右旁ニ0ヲ添レバ十位トナリ更ニ0ノ右旁ニ一個ノ0ヲ添レバ百位トナルヲ懇々説示スマシ然氏此理最モ了解シガタキ故ニ左圖ノ如キ定位表ヲ黑板ニ掲ゲ數位ヲ明解スルヲ要ス

定	位	位	位
	1	0	0
表		1	0
位		1	0
覆	1	0	0

又表

位百	位十	位一
		3
	3	3
3	3	3

又

位百	位十	位一
		5
	5	5
5	5	5

右ノ如ク最初ニハ表中ニ1ヲ以テ定位ヲ立テ10ハ十100ハ百ナルヲ説示シ次ニ表中ノ數字ヲ變換シ十位ノ所ニ3ヲ置ケバ三十百位ノ所ニ5ヲ置ケバ五百ナルヲ懇示スマシ定位ヲ了

解スルニ及デ又問題ヲ出シ書取ラシム

題例(1) 1ノ右傍ニ零ヲ添レバ幾何日本數字ニテ書セ

(2) 二十六ヲ算用數字ニ書換ヘヨ

斯ノ如クスルハ生徒ノ正答ヲ為ス者(1)問ハ

(十) 2) 問ハ(26)ト書スベシ以下皆之ニ倣ヒ推知スベシ

○加算書取法

加算九々圖ヲ授ルニ方リ先加法ノ符(十)ノ義ヲ熟授シ後實物ニ比較シテ之ヲ明解ス

等小學書取本

正榮堂藏版

比 較 法

$\bigcirc + \bigcirc = \bigcirc \bigcirc$

故ニ

$1 + 1 = 2$

故ニ

$2 + 1 = 3$

上式ノ如キ比較法ヲ九々圖
呼ヨミカタ法授業了リテ後黑板ニ掲
示ノ其理ヲ説明シ生徒熟ス

ルノ後種々ノ問題ヲ出シ石盤ニテ書取シム

題例(1) $\square + \square$ 此加數ヲ算用數字ニテ書取レ

(2) $2 + 2$ 此加數ヲ△符ニテ書取レ、答式ハ畧ス

減、乘、除、九々圖ノ問題ヲ書取ルニ至テモ皆以上
諸法ノ外ニ出デズ故ニ餘ハ並ニ略シテ記セズ

下小學書取本終

版權免許 明治十二年六月十四日

定價十五錢

編輯人

千葉縣平民

鈴木貞次郎

麹町區有樂町二丁目
二番地寄道

東京府平民

出版人

内田彌兵衛

日本橋區横山町二丁目
十六番地

羽前鶴岡

小池藤次郎 下總佐倉

吉田傳左工門

小池仲三 同佐原

堤正平

佐藤總吉 大坂

柳原喜兵衛

正榮堂藏版

正徳堂藏

正徳堂藏

全山形

荒井大次郎

松村九兵衛

羽後酒田

岩谷八郎兵衛

吉岡平助

陸前仙臺

白崎吉兵衛

片野東四郎

岩代福島

伊勢安右門

栗田東平

下野宇都宮

池田周吉

尾張名古屋
駿河沼津

荒川源助

全朽木

武藤清助

北畠茂兵衛

上野前橋

黒崎長三郎

稲田佐兵衛

榎山栄吾

山中市兵衛

全高崎

博文堂

山口藤兵衛

下総坂町

文心堂

石川治兵衛

高木直次郎

水野慶次郎

柳川梅次郎